

IoT 新時代の未来づくり検討委員会 人づくり WG 障害者 SWG (第1回)

○日時：平成 29 年 12 月 11 日(月) 10:00~12:00

○プレゼンター

- ・厚生労働省 高沢様、寺岡様
- ・(株) NTTドコモ 福田様
- ・京丸園 (株) 鈴木様
- ・青森県 古川様
- ・(一社) 結ライフコミュニケーション研究所 高橋様

○主な議論

- ・障害者のコミュニケーションを助けるため、IoT、AI を含む ICT の利用が期待されるが、技術先行ではなく、なぜより便利にするか、どのような課題を解決するために行うかということを忘れてはいけないと感じた。
- ・通信環境や便利なアプリがあっても、Wi-Fi の初期設定やアプリのインストール作業等に支援者がいないと難しいのが現状。
- ・青森県のようなサポーターの育成が、一般への知識の普及、そしてその一般の方が障害者の方と一緒に新しい仕事のやり方を作っていく、そういった社会全体の障害者活躍に向けた取組により、障害者の方の活躍の場や生きがいを作っていけるのではないかと。
- ・特別支援教育の対象となる子どもが増えていく中、こうした子ども達に対応できる専門性を持った先生の数足りないという現状があり、そうした課題解決が求められる。
- ・コンピュータや OS が換わるたびに、ICT 教育の引継ぎがなされていないことが問題。
- ・障害の特性を活かし、それぞれの得意なことを仕事に反映させられることが必要。そのために ICT に拠る部分は大きいですが、ICT を使うに当たって、「人と人とのコミュニケーション」という意識を大切にすることが必要。